

3. しりとり検定

(1) 級について

- ・3級、2級、1級の3つのグレードに分かれます。飛び級はありません。本校の児童は、3年生の修了までに全員が3級に合格しなければなりません。また、飛び級はありません。

(2) 問題と試験について

- ・試験の問題は、53～56ページの単語です。スタートの合図で、次のように言っていきます。

Notre Dame → / n /、/ m / → music → / k /、/ k / → cake あえて日本語で表記すると、ノートルダム → ム、ム → ミュージック → ク、ク → ケーキ です。

しかし、そういう日本語的な英語の発音を卒業することがこの検定のねらいです。

- ・2級と1級の試験も、3級の初めからスタートします。3級50語、2級75語、1級100語の最後まで、それぞれ5秒以内に言い続けないと合格になりませんが、途中でのつまずきについては、3級が2ヶ所、2級は3ヶ所、1級は4ヶ所まで面接官が助け舟を出します。

4. パワー検定

- ・パワー検定には2・1級がありますが、単語検定2級以上および慣用句・対話検定の合格者しか受験できません。飛び級は、単語検定1級と慣用句・対話検定合格の場合のみ認められます。
- ・パワーはA検定とB検定とから成り立っています。A検定は面接形式のオーラルテストで、2級の場合、問題は単語検定の4・3・2級合計240語から50問、そして慣用句・対話検定からは10問出されます。56問以上の正解で合格となり、B検定へと進みます。B検定は20問中17問以上で合格です。1級の場合、A検定は2級に同じですが、B検定は25問出題され、22問以上の正解で合格です。B検定はリスニングテストで、日本英語検定協会の主催する「児童英検」と同じ出題形式をとっていますが、パワーの問題はNDETの単語、慣用句、対話などを使用したものを中心に作成されます。
- ・このように、パワー検定には、合格したNDETの総復習と児童英検合格へのステップという2つのねらいがあります。

5. その他

- ・NDETは、年2回の実施(7、2月)を基本とします。合格発表はそれぞれ9、4月ですが、パワー検定のみ、児童英検の実施時期に合わせて年3回おこないます。
- ・合格者には英文の認定証を差し上げます。また、合格の旨が通知票に記載されます。
- ・学校の授業でもNDETの受験準備になる学習をおこないますが、練習専用教材などを使い、家庭での練習を怠らないようにして下さい。
- ・NDETは児童への励ましと英語に対する自信を目標としています。お子様の年齢と英語のレベルに合った受験をさせて下さい。

Notre Dame English Book

2007年1月25日発行

作成 ノートルダム学院小学校英語科 行田隆一

印刷 (有)長谷川印刷
